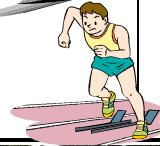


ありかとう

本校で育成すべき生徒の「資質・能力」

- (1) 勇気を持って、挑戦する力 <強く>
- (2) 主体的に判断し、より良く変容しようとする態度 <正しく>
- (3) ふるさとを愛し、社会に貢献しようとする姿勢 <役立つ>



リニューアルした新競技場に爽やかな魁の風



低学年100mHで大会新記録
 2年生「谷川稀人」選手



梅雨入り間近、例年は天気予報が気になる陸上大会、今回は週間予報から雨の心配はしなくても良かったのですが、何よりも心強く感じたのが全天候型にリニューアルされた新競技場の存在でした。市が昨年から約1年をかけて改修工事を行い、県内でも誇れる立派な全天候型のトラックが完成し少々の雨でも実施可能となったからです。

昨年の陸上大会終了後から工事に入り、今年度の大会に間に合うような計画で工事期間を設定し、しかもオープニングセレモニーを本大会に併せてくださるなど、様々な面での市当局のご配慮にただただ感謝するばかりです。そのリニューアルオープンセレモニーでは、市長の挨拶やテープカット、ドローンによる記念写真撮影（全生徒・参加者-市の広報誌に掲載予定）などがありました。

大会内容も素晴らしく、低学年100mHでは、清川㍿(3年)が昨年に出した大会新記録を谷川稀人㍿(2年)が連続更新し、共通男子3000m(三井楽中・川原㍿)と2つの新記録が生まれました。全種目(トラック・フィールド競技)20種目中、福中の成績は男子が17種目で1位、特にリレーとフィールド競技は全て制しました。女子は10種目1位でほとんどが上位入賞し、男女とも全ての選手が全力を發揮しました。

また、選手の最高のパフォーマンスを引き出したのが応援団の声援です。一人一人を名前前で応援したり競技終了には「お疲れさん!」の連呼があったりと、選手を後押ししてくれました。そして、例年のことですが、係になった生徒の機敏で爽やかな動きに感謝です。特に今回は、仕事がない時のテントでの整列状態と一緒に声援を送る姿が見受けられ、福中生らしさが十分に感じられました。

なお、大会成績は五島市中体連のHP(福中HPから入る)に掲載されていますのでご覧ください。

心を見つめる教育週間

6/24(月)~6/29(土)
 「福中っ子の心を見つめる教育週間」が実施されます。

「学校開放日」として設定していますが、今回2年生は26日(水)から28日(金)までの3日間を「職場体験」としております。学校内外での子どもたちの様子をご覧いただき、見守りや励ましをお願いします。

また、29日(土)を「土曜授業」として設定しました。④校時は全学年で「命を大切に作る心」を育む「教科 道徳」の公開授業を行います。そして、例年この週間と絡めて実施してましたPTA行事の「球技大会」を止めて、初めての試みとして今回「学年レク」を企画しています。保護者と生徒、教職員のふれあい・親睦を図る本来の目的を見つめ直す機会としたいからです。保護者のご理解とご協力を必要としますので、何とそご参加の程お願いします。

この週間は「大人が子どもを見つめる」週間としての目的もあります。我が子の良さ、福中っ子の良さをぜひ、校内外で再発見していただけたら幸いです。



「立腰教育」など、日本人として如何に生きるべきか、主体的人間を育てるための教えを唱えた「森 信三」氏の言葉を紹介します。

◇「しつけの三原則」

- 一 朝のあいさつをする子に。
- 二 「ハイ」とはっきり返事のできる子に。
- 三 席を立ったら必ずイスを入れ、履き物を脱いだら必ずそろえる子に。

本校では、トイレを踏み板からスリッパに変え、脱いだらそろえる習慣を意識させています。時には脱ぎっぱなしもあるだろうと感じますが、見た時にはほとんどそろっています。一人一人の自覚が習慣となってきたのか、気づいた誰かが、そろえてくれていたのか、。